

研究課題名	心房性機能性僧帽弁閉鎖不全症における弁輪縫縮術の有用性
研究の意義・目的	この研究は、心房性機能性僧帽弁閉鎖不全症の患者さんに対する外科治療について成績を調べるとともに、弁輪縫縮術を行うために人工弁輪を用いますが、その種類によって患者さんの予後に与える影響を調べることを目的としております。弁輪縫縮術は通常の治療であり、使用する人工弁輪も通常の診療で使用されるものです。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2029 年 12 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2008 年 4 月から 2025 年 1 月の期間に大阪公立大学医学部附属病院の心臓血管外科へ、心房性機能性僧帽弁閉鎖不全症のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 心エコー検査：入院時に1回、外来にて 1 年に 1 回施行します。 上記の検査(心エコー)は、本研究に参加していただくにあたり通常の診療の範囲内で行います。</li><li>● 研究に参加していただいている期間中のあなたの診療情報を、本研究のために使用させていただきます。</li><li>● 術前術後血液検査結果:赤血球数、白血球数、血小板数、PT-INR、APTT、Fbg、FDP、D-dimer、CRP、Alb、T-Bil、D-Bil、AST、ALT、ALP、ChE、血清クレアチニン、BUN、LDH、CK、CKMB、T-Cho、LDL-Cho、HDL-Cho、TSH、F-T3、F-T4、NTproBNP、BNP、FBS、HbA1c これら採血データは、本研究に参加していただくにあたり通常の診療の範囲内で行います。</li></ul>
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学 機関の長の氏名：理事長 福島 伸一
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学のみで行います。 【研究責任者】高橋洋介
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その

<b>利益相反</b>	指示を受けて適切に管理します。 今回の研究は Edwards Lifesciences 株式会社からの研究費を受け実施します。
<b>研究に協力を したくない場合</b>	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
<b>連絡先</b>	大阪公立大学医学部附属病院 心臓血管外科 担当者氏名：高橋 洋介 電話番号：(06) 6645-3980